



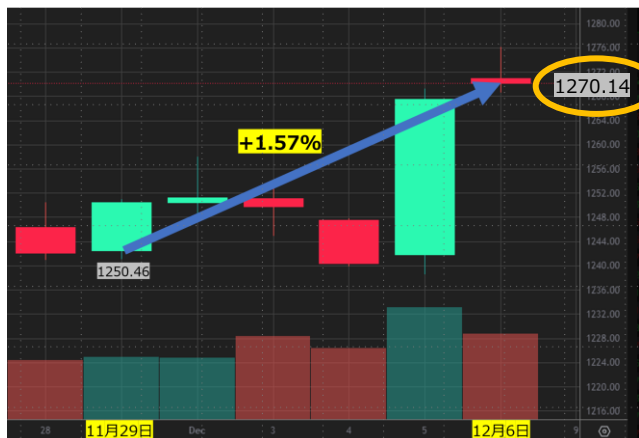
※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2024年12月9日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 11/29-12/6)



| | 週間 | 月間 | YTD |
|----------------|--------------|--------------|---------------|
| VN指数 | 1.57% | 1.57% | 12.41% |
| VN30指数 | 1.98% | 1.98% | 18.19% |
| VN中型株指数 | 2.24% | 2.24% | 9.86% |
| VN小型株指数 | 1.79% | 1.79% | 4.14% |

先週の指数は1250.46ポイントから1270.14ポイントへと1.57%の続伸となりました。先週は週半ばに韓国政治の混乱などを受けて、短期的な利益確定の売り圧力を受けました。しかし、週後半には11月初めに施行されたプレファンディングの規制緩和措置が順調な滑り出しとなっているとの見方や、ベトナム政府と米半導体大手エヌビディアがベトナムに人工知能の研究開発センターとデータセンターを共同で設立することで合意したことを背景に反発いたしました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+1.98%、中型株指数が+2.24%、小型株指数が+1.79%と、それぞれ上昇を続けております。

| | 週間 | 月間 | YTD |
|----------------------------|---------------|---------------|--------------|
| 為替レート (ドン対円レート) | -0.57% | -0.57% | 1.16% |

通貨ベトナムドンにつきましては、米ドルに対して横ばい圏での推移となりました。一方、ドル円相場は、今月の金融政策決定会合で日銀が追加利上げに踏み切る可能性も意識され、ドル安・円高となりました。ベトナムドンは円に対して-0.57%と続落いたしました。

| セクター | 騰落率 | セクター | 騰落率 |
|-------|------|-------|-------|
| 金融 | 2.3% | 素材 | 2.9% |
| 不動産 | 1.7% | 公益事業 | -0.1% |
| 生活必需品 | 0.1% | エネルギー | 1.0% |
| 一般消費財 | 1.6% | 情報技術 | 3.4% |
| 資本財 | 2.1% | ヘルスケア | 2.8% |

セクター別に見ますと、公益事業を除く9セクターが続伸いたしました。特に右下から2番目の情報技術が+3.4%、右上の素材が+2.9%と、それぞれ上昇を続けております。



| 銘柄名[ティッカー] | 騰落率 |
|-------------------------|-------|
| バオ・ベト・ホールディングス（金融）[BVH] | +9.5% |
| SSI証券（金融）[SSI] | +7.3% |
| HDバンク（金融）[HDB] | +5.9% |

| 銘柄名[ティッカー] | 騰落率 |
|-----------------------|-------|
| ビンコム・リテール（不動産）[VRE] | ▲1.1% |
| ベトナム乳業（生活必需品）[VNM] | ▲0.8% |
| ペトロベトナム・ガス（公益事業）[GAS] | ▲0.6% |

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが+9.5%、SSI証券が+7.3%、中堅民間銀行のHDバンクが+5.9%と、それぞれ続伸いたしました。一方、下落銘柄は、商業施設の開発運営を手掛けるビンコム・リテールが-1.1%と続落いたしました。また、ベトナム乳業が-0.8%、国有ガス大手のペトロベトナム・ガスが-0.6%と、それぞれ反落しております。

VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は3週連続で上昇となりました。ベトナム経済は11月の鉱工業生産が前年同月比8.9%増と前月から伸びを高めるなど底堅さを示しております。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10.2倍と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上